

夏にオススメのホラー&ミステリー小説



夜葬 著 最東対地 (角川ホラー文庫)

ある閉ざされた集落では、人の顔は神様からの借りものと信じられているため、村人が死ぬと、顔をくり抜いて神様に返す(地蔵の顔にはめ込む)“夜葬”という風習がある。そのくり抜いた死体の顔には死出の旅のお供にと炊き立てのご飯が盛られる。その様子から死体は『どんぶりさん』と言われている。この物語はコンビニで売られている薄く安そうな心霊本から始まります。どこにでもあるB級ホラーの内容に思われますが、現代に合わせたホラー小説で、スマホの地図アプリが勝手に起動し所在地が目的地に設定され謎の正体から逃げ惑うシーンはすごく焦燥に駆られました。その他にも、恐怖で揺れ動く中での淡い恋愛描写が見所です。残酷で惨たらしい描写がある一方、和やかな雰囲気もあり、その緩急がより読者の心を恐怖へと誘います。夏のはじめに少しひんやり怖い本が読みたい。そんな方にお勧めの一冊です。

かにみそ 著 倉狩聡 (角川ホラー文庫)

全てに無気力な「私」が、ある朝浜辺で小さな蟹を拾う。その蟹は人懐っこい性格で、「私」と意思疎通を図るような仕草をした。その姿に、「私」は蟹に執着していき、食欲旺盛な蟹の「食事のリクエスト」に答えるようになる。蟹が人の言葉をしゃべることができることを「私」にばれたころから、徐々に「食事」がエスカレートしていきある出来事をきっかけに人肉を食べ始めるように……。蟹にとって鶏肉も人肉も生きるために殺して食べているものであり、人を殺すことに何も感じない蟹の無邪気さにぞっとする内容だ。最初「私」は蟹の食事を楽しみに見ているが、殺した人と関わっていた人のつながりを断つことの恐ろしさに段々不安を感じ始める。蟹には理解できない、人だから理解できる苦しみに「私」が苦悩した末、とった行動とは……。



真夏の方程式 著 東野圭吾 (文春文庫)

両親の都合で夏休みを玻璃ヶ浦にある伯母一家が経営している旅館で過ごすことになった小学5年生の少年、恭平。

恭平は行きの電車で湯川に出会う。湯川は海底鉱物資源開発の説明会に参加する予定で、湯川の気まぐれで恭平と同じ旅館に泊まることになった。翌朝もう一人の宿泊客が遺体となって見つかった。その客はかつて警視庁の刑事で、玻璃ヶ浦に縁のある男を逮捕していた。地元警察はすぐ捜査に乗り出し、また湯川も密かに事件に関心を寄せていた。複雑な人間関係も多く見受けられますが、夏の海の美しさ、少年と湯川との微笑ましいやり取りにも注目です!!

夢幻花 著 東野圭吾 (PHP 文芸文庫)

主人公の蒲生蒼太は父の三回忌で殺人事件の被害者の孫である秋山梨乃に出会う。被害者の持っていた謎の黄色い花とはいったい何なのか!?

現在起こっている殺人事件、江戸時代に消えたはずの謎の黄色い花、50年前に起こった悲惨な通り魔事件、主人公・蒼太の夏の恋とそれを踏みにじった家族の謎など、これらが「夢幻花」の闇へと繋がる……。

夏の朝に咲く花である朝顔・別名「夢幻花」を巡って繰り広げられる複雑ミステリー。夏にぴったりのので、是非読んでみて下さい!



~編集後記~

今回の学術メディアセンターだよりはいかがでしたでしょうか。今話題のものや夏に向けたトピックスを紹介しました。ちなみに今回紹介した本は図書館に所蔵していますので、是非手にとってみてください。体調に気を付けてよい夏をお過ごしください!

学術メディアセンターだより

だんだんと暑くなってきて、夏を間近に感じる時期になりましたね。

みなさんいかがお過ごしでしょうか。

今回の学術メディアセンターだよりは新元号「令和」、新紙幣の3人の偉人、ミステリー・ホラー本紹介の3本立てになっています。ぜひお手に取ってご覧ください!!

学術メディアセンターだより 7号
通巻60巻 2019年6月(夏号)

順天堂大学医療看護学部
学術メディアセンター運営委員会
〒279-0023
千葉県浦安市高洲25-1
TEL. 047-355-3111

新元号「令和」

令和の由来

万葉集
第五卷
「梅花の歌」

<原文>

初春正月の令月にして、気淑く(きよく)風和らぎ、梅は鏡前の粉を披き(ひらき)、蘭は佩後(はいご)の香を薫す。

<現代語訳>

初春正月の良い月で、風は穏やかである。梅は鏡の前のおしろいのように白く咲き、蘭は匂い袋のように香っている。

令和の意味

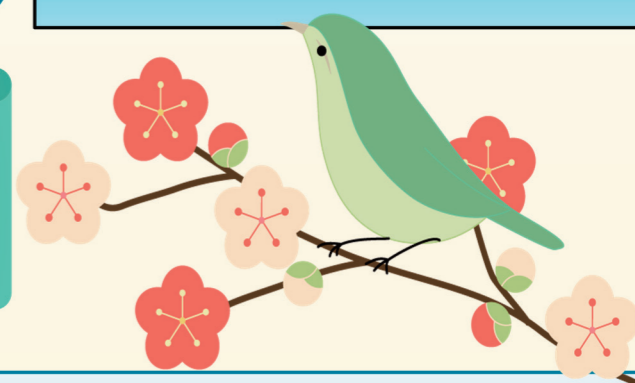
日本の国柄を引き継いでいく梅の花のように一人一人が明日への希望とともに花を大きく咲かせることのできる日本でありたいという願いが込められています。令和とは人々が心を寄せあう中で、文化が生まれ育つという希望と願いをこめた元号です。

引用元:

- 首相官邸. 新元号の選定について (オンライン)
入手先 <https://www.kantei.go.jp/jp/headline/singengou/singengou_sentei.html> (参照2019.6.12)
- マナペディア. 令和の由来『万葉集 梅花の歌三二首併せて序』の現代語訳・意味とその解説 (オンライン)
入手先 <<http://manapediia.jp/text/5673>> (参照2019.6.12)

新元号「令和」について紹介させていただきました。

令和には日本の希望ある未来を願うような意味が込められているんですね。込められた願いのように良い時代だったと思えるような時代になるといいですね。



新紙幣・3人の偉人

2019年の4月1日に新元号が発表されたのに引き続き、4月9日に日本紙幣が新たに刷新・発行されることが発表されたのはご存知ですか？

日本紙幣は偽造防止のために20年周期でデザインを変更しているそうです。前回の新紙幣の発行は2004年だったそうなので、今回の新紙幣が発行されるのは2024年と少し先ですがもうすでに起用される人物や具体的なデザインは決まっていますね。

このページでは新たに新紙幣のデザインに起用されることが決定した北里柴三郎、津田梅子、渋沢栄一の3人の偉人について本の紹介と共にまとめてみました！

北里柴三郎



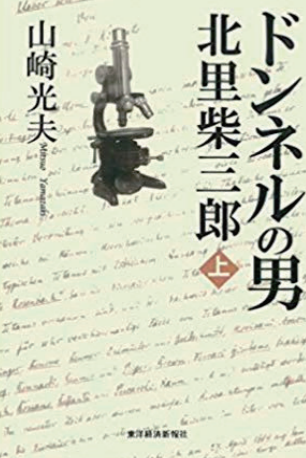
表：北里柴三郎
裏：葛飾北斎 富岳三十六景「神奈川沖浪裏」

北里柴三郎は日本の医学者・細菌学者であり、また教育者でもあります。ペスト菌の発見や破傷風の治療法の開発など感染症医学の発展に大きく貢献した人物です。「日本の細菌学の父」と称されています。

ドンネルの男 北里柴三郎 上巻 著 山崎三夫(中公文庫)

近代日本医学の父であり、世界的な医学者・北里柴三郎の生涯を描く。33歳にして細菌学の巨頭・コッホに弟子入りした北里は破傷風菌の培養に成功した。誰よりも熱心に実験や研究をする北里は、まさしく奇跡の研究業績をあげる。破傷風菌が産生する毒素こそが病気の原因であることを証明し、ついに血清療法を確立した。この本では、北里とコッホの関係の素晴らしさを感じた。コッホという師に対する北里の尊敬の念の強さが、彼が免疫学の扉を開いた大きな要因になっているようだった。その波乱に満ちた生涯は「肥後もっこす」そのままに、欧米での誘いをすべて断り、日本に尽くす使命を果たすために帰国する。雷(ドンネル)おやじの半生を描いた長編小説である。下巻ではペスト菌との壮絶な闘いをはじめ、数々の困難を乗り越えてきたさとの晩年の人生を描く。北里柴三郎はどういう人物で、どんなことをした人なのか気になる方はぜひ読んでみてください！

*熊本県人の気質を表す言葉。無骨な頑固親父の気質。



津田梅子&渋沢栄一



表：津田梅子
裏：フジの花

津田梅子は日本における女子教育の先駆者と評されている江戸生まれの教育者です。6歳で岩倉使節団と共に渡米するなど語学に秀でた非常に優秀な女性で、現在の津田塾大学の創始者でもあります。教育理念：「男性と協力して対等に力を発揮できる自立した女性の育成」

津田梅子の社会史 著 高橋裕子(玉川大学出版部)

今回、私は新五千円札の肖像となる津田梅子さんについての本を読みました。津田梅子さんは近代の女性教育の先駆者と言われています。生い立ちとしては、1871年、6歳の時に岩倉使節団とともにアメリカへ留学し、様々な経験を経て1900年に女子英学塾(現在の津田塾大学)を設立し、教育者として一般女性たちを教育してきた。なぜ津田梅子さんは近代の女性教育の先駆者と呼ばれているのか。それは津田梅子さんの教育方針である「身分にとらわれず、男性と協同して対等に力を発揮できる女性の脅威」が現代女性の社会進出や男女平等思想の根底にあるからです。周り助け合い、当時とはとても難しかったであろう女性教育を押し上げた津田梅子さんはとても立派であり、新札の肖像にふさわしい人物だと思いました。



表：渋沢栄一
裏：東京駅

渋沢栄一は実業家として、また経営哲学者として広く知られています。大倉大輔・井上薫のもとで財政政策を行ったり、第一国立銀行や理化学研究所、東京証券取引所など多数の企業の実立・経営に関わっていました。「日本資本主義の父」とも称されています。

あらすじ論語と算盤 著 渋澤健(宝島社新書)

論語と算盤とは、日本で最初の銀行である第一国立銀行をはじめ、生涯に約500もの会社の設立や育成に関わり、日本実業家の父と呼ばれる渋沢栄一が、各地で演説した内容を一冊にまとめた本です。その本をわかりやすく一つの演説を約400字にまとめ、言葉の解説や可愛い挿絵を入れて読みやすくしてあります。演説を読むとなると堅苦しい感じがしますが、現代の私たちにも役に立つ言葉がおおくかいてあり、読んでいてとても面白いのでおすすめです。

